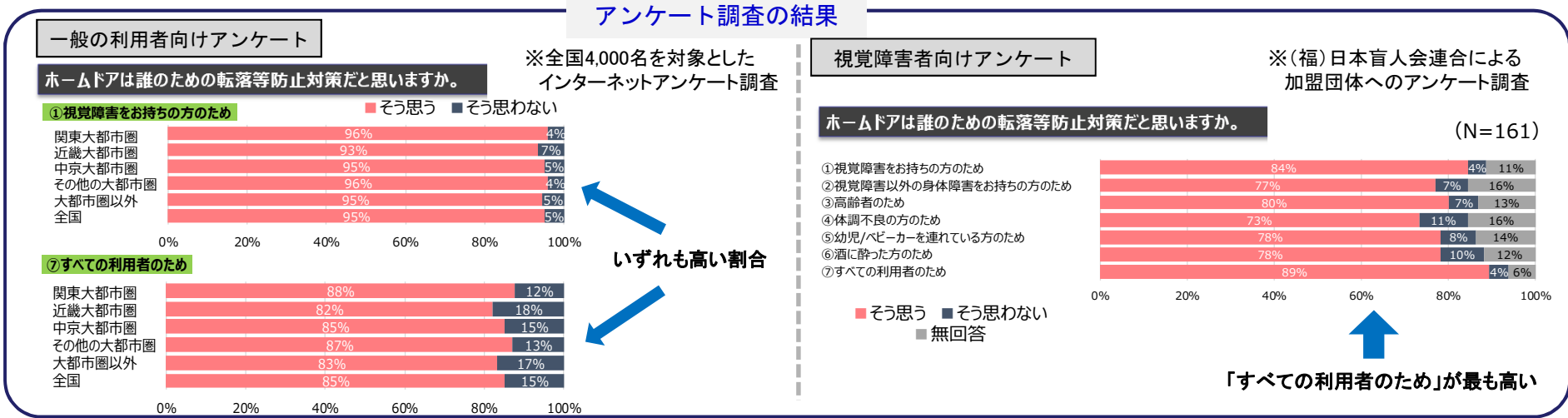
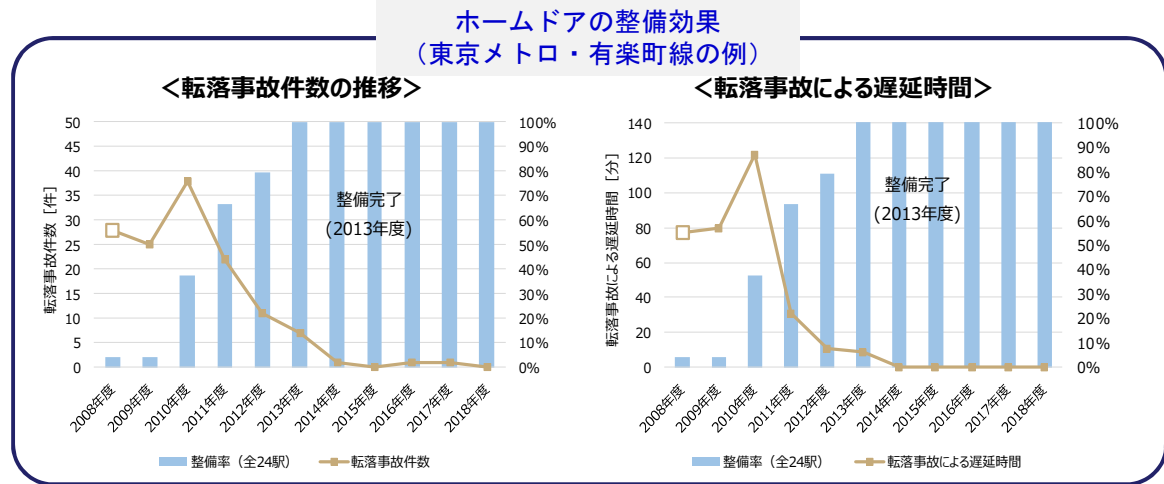


ホームドアの更なる整備促進に向けた提言・参考資料①

1. ホームドアの意義について

- ①ホームにおける転落・接触等は依然として多発。
 - ②ホームドアは転落・接触等の防止に大きな効果。
 - ③アンケート調査結果によると利用者の多くはホームドアを全ての利用者のための施設でもありと認識。
- ⇒全ての利用者の安全性の向上を図る施設として、ホームドアの更なる整備の推進が必要。

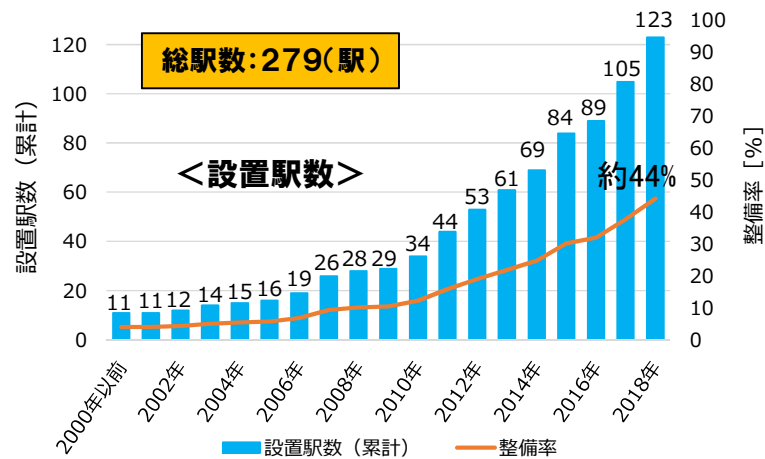


ホームドアの更なる整備促進に向けた提言・参考資料②

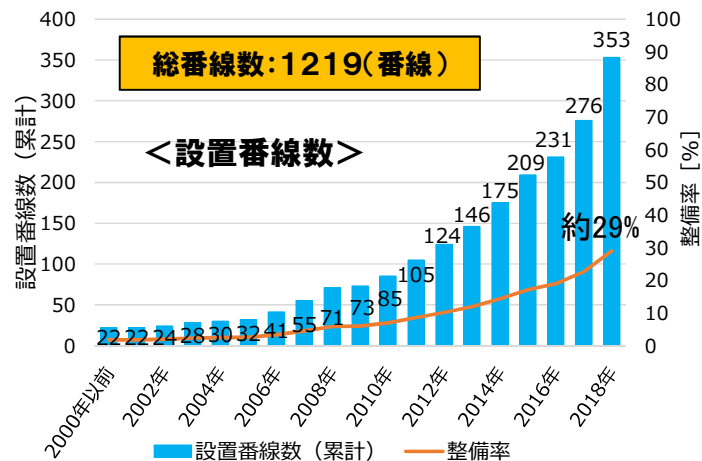
2. 番線に着目したホームドアの整備について

①これまで優先整備の対象としてきた10万人以上駅の整備率は、約44%。②番線に着目した整備状況は約29%に留まる。
⇒番線ごとの整備状況にも着目して、計画的な整備促進が必要。

10万人以上駅の整備済み駅数 123駅 / 279駅 (約44%)



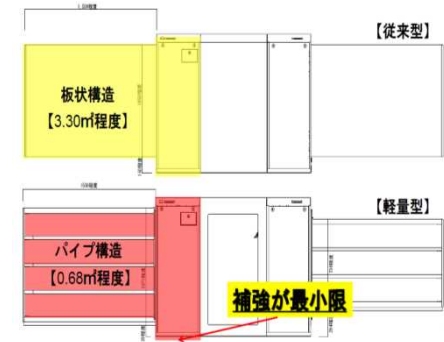
10万人以上駅の整備済み番線数 353番線 / 1219番線 (約29%)



3. 軽量型ホームドア等の整備促進について

①ホームドア整備には多額の費用がかかり、普及に当たっての大きな課題。②設備費用、ホーム補強費用を低減させる、新たなタイプの軽量型ホームドア等が実用化されつつある。
⇒軽量型ホームドア等の整備を促す政策的誘因の検討が必要。

JR九州において導入されている軽量型ホームドア



JR東日本において導入予定のスマートホームドア®



※「スマートホームドア」は、JR東日本メカトロニクス㈱の登録商標です。